

## 部活動保護者会あいさつ 平成28年5月6日（金）（抄）

本日は、お忙しい中を部活保護者会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。せっかくの機会ですので、ごあいさつとして、わたくしから大きく3つほどお話をさせていただきます。

1つは、部活動の教育的価値について。2つめは、協力のお話のお話です。3つめは、本校の公式ウェブサイトの部活動をご覧になっていただきます。なお、わかりやすくするために、スライドを準備いたしましたので、こちらをご覧いただきながら、お話をお聞きください。

では、1つめです。部活動の教育的価値のお話です。目的は「人間づくり」人としての成長です。これを目的に、日々の活動をしています。ただし、展覧会やコンペ、あるいは大会、試合等がありますから、それも通じながら目的達成のために努力します。その展覧会入賞や試合での勝利は「目標」であって、「目的」ではありません。これを間違ってしまうと大変なことになります。目的と目標の違いをきちんと指導者や大人が確認しておくことが大切です。昨今のスポーツ界の不祥事、大相撲界、桜ノ宮高校、野球界、バドミントン、スノボ等々、一競技団体の問題ではなく、社会全体に投げかけられている問題として捉え、特に幼少期、ジュニアスポーツや中学校スポーツにかかわる指導者や大人は、肝に銘じなければいけないと考えています。

どうか、教育的価値としての、目的と目標の違いをご理解いただき、本校の部活動へのご協力をお願いいたします。

大きな2つめです。

保護者の皆様へのご協力のお話です。

ぜひ、見学応援をお願いします。見にくることで生徒相互の関係、集団の中でその子がどんな立場にいるのかが分かります。授業参観では、教員が流れをコントロールしていますから、その子の集団での立ち位置は正直見える部分が多くはありません。しかし、部活動だと、見える部分が多くあります。おちゃらけキャラなのか、リーダーなのか、いじられキャラなのか、それとも、一人ぼつんといるのか、部活動の動きの中で見えてきます。そうした意味でも、見にくることをお願いします。

そして、部活動は三者の協力で、生徒が大きく育ちます。学校・地域を底辺に、両辺は「保護者」と「顧問・指導者」です。いずれかに偏ると三角形は、正三角形ではなく、崩れたかたちになります。特に、顧問の先生や外部指導者への批難、批判は、すべて生徒に基に帰結することをお伝えしておきます。選手起用、練習方法等すべてです。ご意見があるならば、直接、顧問の先生や外部指導者と話し合うべきです。それを他者に訴えたり、生徒に話しても、何らプラスはありません。ご意見は直接訴えてこそ、解決の道があります。ぜひ、先生や指導者の批難、批判をなくしてきましょう。スライドでお見せした三角形の図のとおりです。大きくしたい三角形が、心ない発言で歪んでしまいます。

そして、もう一つ、顧問の先生がたも、それぞれの家庭やご自身の生活があります。本校の例だけではありませんが、様々なご家庭の事情を抱えていることを、いつくか例を申し上げます。親の介護をしながら、教職のお仕事をされている先生、奥様がうつになりその介護を続けながらがんばっていらっしゃる先生、お子様に障害があって、様々な面でその面倒をみながら先生としてお仕事をされているかた、シングルマザーとして子育てしな

がら教員の道を歩まれているかたもいらっしゃいます。なかには、部活動ばかりで離婚された先生もいらっしゃいます。土日の練習や練習試合、大会の引率等が無理な先生もいらっしゃいます。こうした教職員個々の事情のあることもご理解のうえ、部活動にご協力いただくことをお願いしたいと思います。

自分の例を申し上げます。二十数年前のお話です。サッカー部の顧問をしていたときです。GWの5日間、まったく練習試合も、練習も入れませんでした。すると、ある保護者が「なんでGWに1日も練習がないのか？」というご質問がありました。たまたま、その年は、日本人学校で3年間一緒に勤務した愛知県の教員が、ご家族で我が家を訪問してくれる予定になっていました。ですから、私はその保護者に事情を話しました。ご両親ともご理解くださり、以後、このご夫妻には何度助けられたことでしょうか。今では、年賀状のやり取り、卒業後お子さんの成長まで報告いただく間柄になりました。そのお父さんお母さんの偉いところは、こうした意見を直接顧問の私に話してくださったことです。これを他者に愚痴たり、子どもに話しても埒はあきません。かえって話をこじらせるだけです。解決に遠回りになることは、すべて生徒たちに跳ね返ることをご理解ください。どうかこういうことをご理解くださいますようお願いいたします。

では、大きな2つめの最後に、自分の子どもの経験をお話しして、3つめのサイトをご覧ください。（自分の子どもの話は省略）

本校の生徒たちのために自分の嫌な経験のお話をさせていただきました。

大きな目的と目標の違い、みんなが協力して生徒たちの健全な育成を目指してまいりましょうというのが、本日のお話の趣旨でした。

では、最後に部活動情報の取得について、本校のサイトをご覧ください。

以上です。